

## オリエンタル系ユリの球根肥大状況について(9月1日現在)

平成28年9月12日  
 経営普及課  
 (農業革新支援担当)

新潟県農業総合研究所園芸研究センター、中山間地農業技術センター、高冷地農業技術センターにおけるオリエンタル系ユリ球根定期観測結果から、今年の球根肥大及びノーズ形成状況についてのデータを紹介します。

## 1 供試球根

(1) 調査品種：カサブランカ (2015年オランダ産TYS球根)

(2) 球根サイズと前年との比較

供試年度	球根サイズ	球根重 (g)	球周 (cm)	りん片 (枚数)	葉数 (枚)
2016	14/16	47.3	16.2	25.7	35.8
2015	14/16	41.8	15.2	24.3	35.2

※3センターとも同一ロットの球根を供試し、園芸研究センターで調査した。

## 2 耕種概要

観測場所 (所在地)		園芸研究センター (聖籠町)	中山間地農技センター (長岡市川口)	高冷地農技センター (津南町)
栽植距離		20×20cm 4条植	20×20cm 4条植	20×20cm 5条植
定植日 (前年度定植日)		4月1日 (4月8日)	4月19日 (5月25日)	4月27日 (5月2日)
施肥 N-P <sub>2</sub> O <sub>5</sub> -K <sub>2</sub> O (kg/10a)	基肥	15-15-15 (4/1)	14-12-13 (4/10)	19-15-19 (4/26)
	追肥 (実施日)	5- 5- 4 (6/2)		3-4.2-3.6 (6/30) 3-4.2-3.6 (7/20)

## 3 生育状況

(1) 開花盛期は、園芸研究センターで7月11日(前年7月17日)、中山間地農技センターで7月22日(前年7月31日)、高冷地農業技術センターでは7月31日(前年8月3日)と、いずれのセンターとも早まった。

(2) 定植後は高温傾向と降水量に恵まれ、生育は順調に推移している。供試した球根重の違いもあるが、草丈・葉数・輪数は前年を上回っている。

(3) 園芸研究センターと高冷地農業技術センターでは球根肥大は前年より良好で、新球の肥大も進んでいる。

※ 事情により、中山間地農業技術センターの9月1日調査のデータは無し。

## 4 具体的データ

添付ファイル「L20160901data」及び図1～図4を参照。

※ 次回の生育情報は、9月15日調査のユリの球根肥大及びノーズ形成状況(第3報)をお知らせする予定です。



図1 園芸研究センターにおける生育状況（左：養成ほ場、右：調査株）



図2 園芸研究センターにおける球根肥大状況（左：球根全体、右：新球）



図3 高冷地農業技術センターにおける生育状況（左：養成ほ場、右：調査株）



図4 高冷地農業技術センターにおける球根肥大状況（左：球根全体、右：新球）